

# UA神奈川学習センター はるだより

2002/4/1 発行

第5巻第2号(通巻18号)

目次:

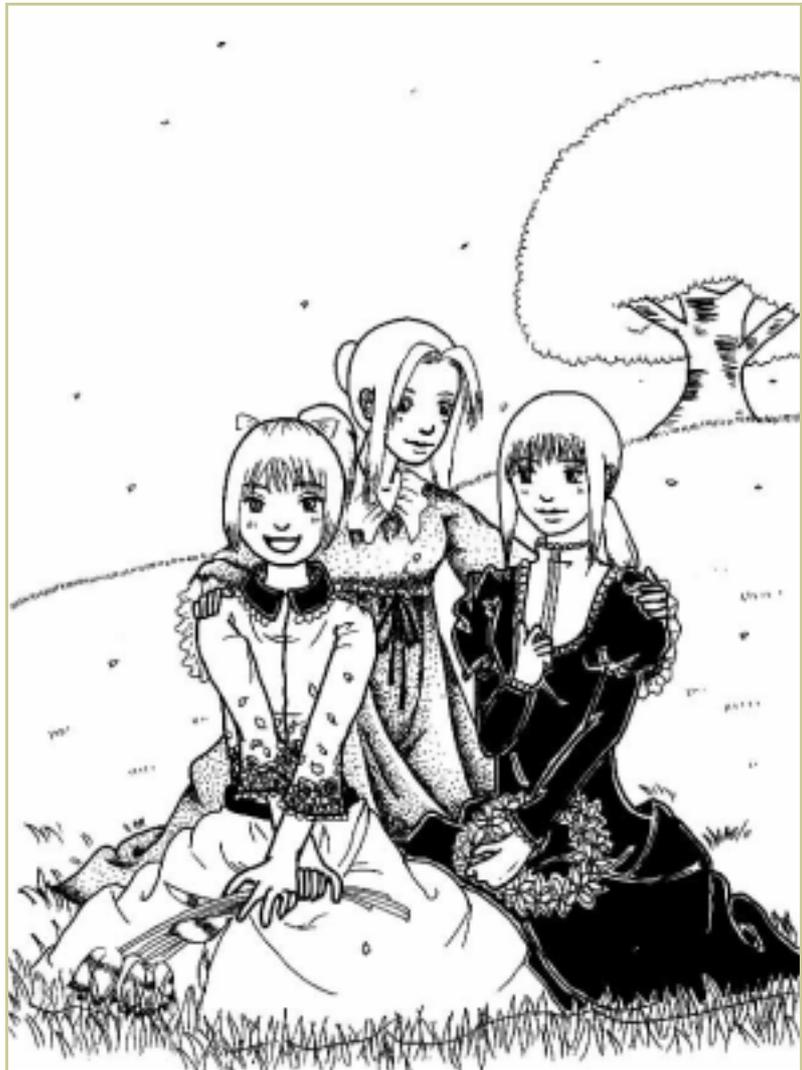
特集

「人との出会い」 2

自句自解 5

神奈川学習センター  
での3年間 5

学生団体・サークル  
のお知らせ 6



放送大学神奈川学習センター

〒232-0061 横浜市南区大岡2-31-1

TEL:045-710-1910

FAX:045-710-1914

<http://u-air.net/kanagawa/>

E-Mail:social@u-air.ac.jp

[イラスト:坂戸五葉]

特集：  
「人との出会い」  
について

人との出会い

嘉山 政宏

私が選科履修生として放送大学に入学したのは97年後期ですから、もう4年半前になります。その頃募集が開始された医学部・薬学部学士編入学試験を受験することを思い立った私でしたが、工学部出身だったため、化学、生物学の知識が不足していました。学士編入学試験では、大学教養レベルの問題が課されます。また、受験資格も、大学で化学、生物学を一定単位数取得していることが条件になっていることがほとんどです。

しかしながら、会社員として働いている私には、平日大学に科目等履修生として通学する時間はありません。勿論、一般入試でいく手もありましたが、大学を卒業して約10年、30代に達していた私にとって、2年次、ないし3年次への編入は大きな意味があります。

さて、どうしたものか考えましたが、ある大学の教授が、「放送大学の取得単位は履修単位として認める。」とのアドバイスをしてくれました。そのときまで、放送大学についてほとんど知識を持ち合わせていなかった私でしたが、このよ

うな経緯で学ばせていただくことになったのです。

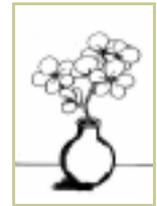
入学してみてもまず驚いたのは、本当に様々な年齢層の人達が学んでいるということです。特に、御年配の方々が真剣に学んでおられる姿には頭が下がります。私自身のモチベーションを維持する上で、このことは大変刺激になりました。これから先、幾多の困難があろうかと思いますが、そんなとき、年齢に関係なく勉学に勤しんでいらした方達を思い出して、難局を乗り切る糧にしたいと思います。

私は、職業、仕事とは、それを通して成果を社会に還元すると同時に、自らを高めていくための手段であると考えています。しかしながら、近年は目先の結果にのみ捕らわれてしまい、本来の仕事の目的が見失われているように感じられてなりません。私はこれから、ただ自分自身だけのために生きるのではなく、何かを人のために為して、共に悩み、共に苦しむ中で私自身もまた成長していく、そういう生き方がしたいと思います。そのような考え方の上に立って、遅滞きながら、自分で用意した資金で、自分の力で、医療を一生の仕事として学んでいこうとするものです。

結果として、医学部編入学には失敗しましたが、薬学部編入試験に合格することができました。これも、放送大学で履修した化学、生物学、医学関連の科目による部分が大きいと思います。放送大学では、普段会社勤めの選科履修生だったこともあって週1～2日しか通いませんでしたが、いろんな方々に出会いました。これからも、色々な人に出会おうでしょう。その度に、今のこの初心を思い出し、放送大学でもう一つ学んだこと、「学び始めるのに、遅すぎるということはない。」ということのを思い起こして、これからの人生を歩んで生きてきたいと思います。



## 地域に広げる生涯教育



### 若林 孝次

私は若い頃大学の法学部を卒業し、今回、生涯学習のつもりで、専攻も新たにして「自然の理解」を履修しているところです。

そんな折、たまたま平成12年3月に私の住んでいる大田区教育委員会が、「生涯学習プランナー成人学校など講座の企画、運営をサポートしてみませんか」という公募をしていたので、応募して、基礎講座を受講してみました。そのときの生涯学習プランナーは29名でした。その年の秋に応用講座が行われる予定でしたが、教育委員会の業務見直しのために立ち消えになってしまいました。ところが平成13年夏に予算がついてその事業が再開されることになり、9月から11月までの毎週金曜日午後6時半から9時まで「講座作り」のための企画会が合計8回行われました。

初回は自己紹介とか企画会の運営の仕方などを決める内容で、発言する人はそれぞれ何かがこちなかったのですが、3回、4回と回を重ねて行くうちに、聞き方、話すタイミングの取り方も要領を得て来て、話の内容も広がりを見せて来ました。

生涯学習プランナーに応募した人は、定年退職した男性、主婦、勤労している若い女性、大学生など様々です。専門知識や理論に基づいた発言をするのではなく、むしろ身近なところで気がついた話をするのが中心で、一人一人の話の内容は特に目立つという訳ではないのですが、それを毎回会議録に集約して記録に残すと、後日読み返して話の全体の流れを知ることができ、この発言はこういう文脈で話が展開していたのだと改めて気がついて驚きます。

生涯学習プランナーは教育委員会から司会をすること、会議録を毎回作成することが指示されました。企画会のうちの前半5回では、生涯学習プランナーが毎回2時間半「ただ話すだけ」という進め方でした。この時には、生涯学習プランナーは10名前後に減ってしまいましたが、毎週10名前後で2時間半「話す」というのは、今まで全く経験したことのないことでした。

内容をすこし紹介しましょう。3回目の企画

会のテーマは、「普段、どんな講座を求めているのか」でした。話し合いの結果、住民の心のふれあいの場としたい。行政(大田区)がきっかけを作るのが大事だ。自分探しの講座が必要だ、などでした。

更に4回目は、行政のねらいは何か。生涯学習の講座はサークル活動よりもっと社会的意味付けがある、という視点の下に様々な意見が出されました。なお、この回はファシリテーターが参加して、「生涯学習とは単なる仲間だけのグループ作りでなくて、地域社会などもっと外に向かっていくものが必要だ」というアドバイスも受けました。

6回～8回は講座の具体的なプログラム作り、更に12月にパンフレットを作成して、平成14年2月から3月に生涯学習プランナーが企画運営した区民大学「講座作りワークショップ」が行われました。

たまたま教育委員会の公募に応募したことがきっかけで、様々な社会的背景の人と出会い、普段は雑学程度の内容しか話さなかったのが、住民と行政との共同参画で徹底的に話し合う機会を得ることができて、貴重な体験だったと思います。



特集：  
「人との出会い」  
について

June Taborとの出会い

坂井 素思

その歌声は突然天井から舞い降りてきた。伴奏はなく、モノトーンの歌声が小気味良く続く歌だった。森があり茂みにきつねが潜み、川には魚が跳ねているという、英国伝統(ブリティッシュ・トラッド)のフォークソングの律動が伝わってくる歌であった。無垢の檜で作られたがっしりとしたテーブルと椅子に座って、ホーローのカップでアメリカンを飲みながら、思わず目をつぶって聴きこんだ思い出がある。

ちょうど今から4半世紀ほど前、1970年代わたしは下宿で、読書三昧の毎日を過ごしていた。けれども、その夏の猛暑はこたえた。冷房の効いた近くの喫茶店に入り浸って、一日の大半をそこで過ごした。渋谷の道玄坂を少し登って、小高いところに百軒店(ひゃっけんだな)という飲み屋街があり、その一角に「ブラック・ホーク」というロック喫茶があった。朝10時の開店と同時に、途中近くのラーメン屋「喜楽」で昼を食べ、時には夕飯も「ムルギー」でカレーをかけ込んで、それでも終日この喫茶店に座席を占め続けた。店全体の照明はなかったが、大きなテーブルの上には目深にまで下りてきている緑の傘をかぶった白熱ランプがあり、読書には最適だった。店にはたいへん迷惑な客だったろうが、何も言わずに許してくれた。

この店の選曲は素晴らしかった。聴いたこともないような、しかし成るほどそうかと思わせるような曲を、次から次へと紹介していた。すでに伝説的な存在になっていたフェアポート・コンベンションや、最盛期を迎えていたランディ・ニューマンは、この店で教えられた。ちょうどこの店に通わなくなる頃、レゲエが流行り始めていた。

そのなかであって、ジューン・テイバーは格別だった。ロックが続いたなかで、急に静寂が訪れる。フィドロが絡んで、ギターがリズムを刻む。スローなロック調のフォークソングにも気持ちやすらいだ。アルバムの名前も「灰とダイヤモンド」となっていて、やはり伝え聞いていた伝説的なポーランド映画を思い出させた。当時、わたしの一日の読書量は異常な焦燥感にあおられて相当な量に上っていた。読書ノートはどんど

ん溜まったが、一日が終わるとヘトヘトになった。読書で疲れたのか、ロックとの組み合わせで疲れたのかはわからないが、このようにバランスさせるものがどうしても必要だったことは確かだ。

なぜ「テイバー」の歌は心地良いのか。それは聴けばすぐわかることだが、その曲に合った歌い方をしている、ということに尽きる。トラッドの曲は昔から歌い継がれてきた曲である。今日のようにすぐ消耗してしまう商業主義の歌とはまったく異なる。何回も何回も繰り返し、多くの人に歌われてきて、みんなの耳の奥にすでに記憶されている曲である。このような繰り返しの耐え、かつ新鮮に聞こえる歌い方が、フォークソングには求められる。つまり、みんなの耳に選ばれるためには、奇を衒ったものではなく、普通の歌い方である必要があった。

彼女のアルバムには、他の歌手の曲が多い。たとえば、エルビス・コステロの曲などは本人でさえうなってしまうほどの出来ばえだ。ここに彼女の特色が現れている。古い曲の繰り返しのなかであって、その上でその古きを復活させるために、ほんの少し新しい息吹を吹き込むような歌い方が良いのだ。

レコードからCDへ切り替わる時代に、テイバーのCDが日本で手に入らなくなった。ときどき、目利きがいて、通信販売で売り出されることはあったが、それも継続されることがなかった。たまたま、英国へ行く仕事が出来たとき、ロンドンの中心にある大きなCD屋で、テイバーのCDが続々出されていることを知った。最近出た「ロザムンデ」というCDにも、彼女の特徴が出ていると思う。

こうしてさらに時間は過ぎたが、自分のなかにあるこのような繰り返しの省みると、いまでも「テイバーとのあのときの出会いは続いていることがわかる。少しカルトめいているので語るのがためらわれたが、わたしの人生のなかの出会いのひとつとして、これらのことは刻み込まれている。

## 俳句：自句自解

松本 道男



春光を激しく揺らす柿田川  
道男

富士の湧き水はおいしい水として環境庁の「名水百選」に選ばれている。日量約100万トンという日本一の水量を誇る柿田川は、こんこんと湧き出る水が操る砂の舞いや水草のダンスなど幻想的な光景を醸し出していた。そして、春の日差しを浴びた湧き水は、その春光と私の心を揺さぶったのである。

## 神奈川学習センターでの3年間

浅野 芳治

退任にあたって

暖かい日が続いたせい、今年はずいぶん早く桜が咲き始めました。神奈川学習センターがある弘明寺は桜の多い町です。大岡川沿の桜並木はとても有名ですし、観音通りではさくら祭りがおこなわれます。学習センターの前の通りには、いろんな種類の桜が咲きます。

私が神奈川学習センターにやってきたのは、3年前のちょうど今頃の時期でした。

それは私が放送大学で働くことになったからでした。

でも当時は放送大学についてはあまり詳しく知りませんでしたし、学習センターがどんなところかもわからないし、とにかくわからないことだらけでした。

私の仕事は面接授業や単位認定試験の準備、証明書の発行、入学者

の集いや卒業式等々、様々な業務がありました。職員の人数が少ないのでいろいろなことをするわけです。

忙しくも充実した日々を送ることができました。

でもやっぱり一番よかったのは、たくさんの人とお会いしてお話できたことだと思います。毎日センターにはたくさんの学生さんがいらっしゃいますし、電話もたくさんかかってきます。私は学生のみなさんに、できるだけ明るく親しみやすく接するように心がけました。放送大学では学生のみなさんは、普段はほとんど1人で放送を視聴し、勉強しておられます。だからちょっとした疑問や質問でも、気軽に事務室に聞けるような雰囲気にしたかったです。私の努力だけではどうすることもできないこともあり、残念だったこともあるのですが、学生の

みなさんによるこんでいただけると、それはそれはとってもうれしいものでした。

あっという間に3年間の過ぎてしまいましたが、すばらしい先生方や職員のみなさんにも恵まれ、無事に勤め上げることができました。

4月からは新たに大学院の授業が始まります。新しい職員も何人が加わります。職員のみなさん、神奈川学習センターが今まで以上にすばらしい場所になるようがんばってください。そして学生のみなさん、どうぞお元気で充実した学園生活をお過ごし下さい。どうもありがとうございました。

## 学生団体・サークルの お知らせ

### 神奈川放友会

新入学の皆さんおめでとう御座います。在学の皆さんと同じく新たな学習生活の準備中と思います。神奈川放友会は神奈川学習センター所属の学生団体で、会員相互の交流の輪を拡げて親睦を図り、学習を援助するサークル活動を行っています。

- ・行楽と研修を兼ねた旅行
- ・一泊研修旅行  
(大学本部・図書館等)
- ・旅にいこう会  
(行楽地・名所旧跡等)
- ・学習に関する情報交換
- ・会員相互の研究発表
- ・パソコン勉強会

特にパソコン勉強会には放友会の半数近くが参加しています。放送大学での学生生活をより一層充実させ交流の輪を拡げたい方の入会をお待ちしています。

§ 行事予定 (4月～9月)

- 4月6日(土) 新会員勧誘、歓迎会
  - 4月21日(日) 14年度総会上
  - 5月26日(日) 例会
  - 6月23日(日) 旅にいこう会
  - 7月14日(日) 例会
  - 8月 第一又は第四日曜 フェスタ・ヨロ
  - 9月14(土)~15(日) 一泊研修旅行
- パソコン勉強会は別途スケジュールで実施しています。

照会/入会申込先

〒251-0025 藤沢市鵜沼石上  
1-13-13-506  
芝崎 芳和 Tel/Fax : 0466-25-0090  
E-Mail : shibasun@gray.plala.or.jp

放友会活動報告 :

三溪園に梅見ハイキング

放友会恒例の「旅に行こう会」が、三溪園の梅を楽しもうと2月17日(日)参加人数21名で開催されました。

三溪園は美術愛好家で知られる実

業家(生糸貿易)原三溪(本名富太郎)によって、横浜市中区本牧につくられました。広さが18万㎡ある日本庭園で、明治39年に公開されました。園内には多くの古建築や古美術品のコレクションが展示されています。また、庭園には四季折々の花々が植えられており、この季節には600本もの梅が風情ある花を咲かせます。

午前9時30分JR根岸駅集合。線路沿いの公園で自己紹介。記念撮影・・・何台のカメラに収まった事やら・・・ここから歩く事約5km。本牧市民公園、湖心亭、上海横浜友好園を通り南門より三溪園に入園。観梅会の真最中とあってたくさんの人・ひと・ひと。南門に入ったすぐ左手に友好都市中国・上海市から贈られた花弁を支える萼の部分が緑色の「緑萼梅(りょくがくばい)」(Chinese plum tree)がとてもきれいに咲いて迎えてくれました。ちょっと小さな花で梅の木全体がほんのり緑色に見えました。松風閣(伊藤博文命名)では展望台より間近に海を望み、タンカーや燃料タンクを見て改めて港町横浜であることを実感しました。投句箱に寄せられた俳句を見て昨年の神奈川フェスタを思い出し、今年の投句は何にしようかと考えた人もいたようです。

素敵な竹のトンネルをくぐり、山の上に建つ旧燈明寺三重塔(関東地方では最古の塔・三溪園のシンボル)へ。ちょっと坂道がきつかったが、この竹のトンネルはなかなか風情があってとてもよかった。坂を下り、初音茶屋で昔ながらの古釜で沸かした麦茶をいただいてほっと一息。

初音茶屋わきの梅林には、有名な竜が地を這うような枝ぶりの「臥竜梅(がりょうばい)」が満開の花を見せてくれていました。

お休み茶屋で昼食後、旧燈明寺本堂での琴の演奏を聞き自然の中でゆったりとした気分になることができました。次に大池にかかる観心橋を渡って内苑の臨春閣・月華殿・天授院等を見学。正門に向かう

途中横浜市指定文化財の鶴翔閣があり、会議やパーティー等の利用が可能な貸出し施設とのこと。「放友会の忘年会をここでやりたいね。」なんて話しも・・・。

内苑出口にミツマタの木が蕾をつけていました。ミツマタの名前の由来や、紙幣の原料になるなどとミツマタ談義、そう言えば紙の原料は「こうぞ・ミツマタ」って二つの名前をセットで覚えたことを思い出し、懐かしい昔にちょっとタイムスリップ。

紅梅・白梅・真っ赤な椿、やわらかい色合いのボケの花、清楚な水仙、ねこやなぎ、春を待ちわびている木々の芽、大池には気持ちよさそうにマガモなどの渡り鳥が泳いでいました。雨を心配してちょっと早めに午後1時30分、三溪園正門で解散。なかなか会えない人と情報交換をし刺激を受けたり、安心をしたり、頑張るぞと元気をもらったりといい思い出が出来ました。心配されていた曇り空も何とかもち、幹事小林さんの入念な下見に感謝でいっぱい。療養中だった吉田会長も参加され、何より嬉しい梅見の会になりました。 手塚記

### 人間学研究会

【例会予定】(2002/04～2002/08)

04/06(土) 新入生の集い(会員募集活動)

04/13(土) 卒研発表「老人介護について」津國秀子さん・ケアマネ実践現場から見た現状報告をして頂きます。介護保険のあらまし、利用状態の現状など皆様にお役に立つことと思います。(人間研OB津國さんは、久しぶりの参加です)

05/25～05/26 土日の泊り込み研修会(左記日程に変更)

05/25(土)「銀座の中の江戸」江戸文化研究者の照一郎さんに銀座の名所を案内していただきます。あと千葉学習センターセミナーハウスに宿泊。05/26(日)佐倉

の歴史博物館を訪問します。

06/15(土)「現代美術の転換点」モダニズムからポスト・モダニズムへ - ミニマル・アートのもたらしたもの - 坂田洋一さん

07/14(日)「幕末の社会風刺」すずきよしこさん

08/25(日) フェスタヨコハマ  
連絡先: 高橋暢二 044(355)3865

【歩きましょう予定】(2002/04~2002/07)

04/20(土)「ツツジの咲く坪山ハイキング」中央本線上野原駅に8:20集合(8:28バス発車)。バスで坪山登山口 坪山に向かって尾根道を登り約2時間で山頂到着。雨天の場合は28日、更には29日に延期致します。

05/03~05/08「第19回おくのほそ道を歩く」今回はかつての難所親不知・子不知を歩きます。05/03・04新宿発23:09の快速ムーンライトえちご(全車指定)で新潟、乗り換えて直江津にて下車。直江津 名立能生泊(3.4Km)。05/05糸魚川 青海泊(2.4Km)。05/06市振 境泊入善泊(3.0Km)。05/07滑川 富山泊(3.2Km)。05/08高岡 石動(2.8Km)の行程で8日に帰宅予定。泊予定地に宿泊出来ない場合は近隣の都市に泊。よほどの悪天候が予想されない限り実施。

次回は倶利伽羅峠を越えて金沢に。日程は未定。

06/24~07/02 または 07/01~07/09 の8泊9日「十勝岳・トムラウシ山・幌尻岳・後方羊蹄山 登山ツアー」(試案。内容変更の可能性あり)第1日目 羽田空港 旭川空港。レンタカーで白金温泉又は吹上温泉で宿泊。途中、富良野や美瑛平野を観光予定。第2日目 早朝出発。十勝岳登山往復約7時間。午後トムラウシ温泉へ移動。国民宿舎東大雪荘に宿泊。第3日目 早朝出発、クルマで短縮コース登山口からトムラウシ山登山。トムラウシ温泉泊。第4日目 日高山脈を横断。日勝樹海道路・日勝峠を越えて振内などに宿泊。第5日目 奥幌尻橋 幌尻山荘。ここで泊。第6日目 荷物

を置いて幌尻岳山頂往復。奥幌尻橋に戻り市街地に宿泊。第7日目 支笏湖や洞爺湖を巡ってニセコ又は倶知安登山口へ向かい、そこで宿泊。第8日目 後方羊蹄山(しりべしやま=蝦夷富士)登山。下山後近くの温泉に宿泊。第9日目 道東の観光地を巡り千歳または函館空港から羽田空港に戻る予定(函館空港の場合は早朝出発)。超割引航空券を利用したいと思っていますので、参加希望者は、4月の例会日までに航空券代を添えてお申し出下さい。費用は12万円前後です。コースや宿泊地の希望・変更などがありましたらお申し出下さい。

連絡先:

大出鍋蔵 0468(41)7937  
鈴木万里子0466(37)0191

## うえるかむKanagawa

“うえるかむKanagawa”は神奈川県学習センターの英語サークルです。

午前中は英語のフリートークを行なっています。現在は日本人だけですが、毎回トークのテーマを決め、そのテーマに沿って、なるべく英語だけで会話を進めるように努めています。日本人同士の英会話とはいえ、普段なかなか英語で話す機会のない私たちにとって、とても貴重な会話練習の時間になっています。

午後は、ラジオ講座を利用した学習、英語を使ったゲーム、会話表現の練習、文法の確認など、みんな楽しく、有意義に英語を学べるように工夫しています。

「英語は学習したいけど、どうすればいいんだろう?」「一人で勉強するのはつまらないな」と思っている方、ぜひ私たちと一緒に楽しみながら学びませんか? また、各支部合同行事では、年に4・5回集まり全体の親睦を深めています。

\* 例会

第二、第四、水曜日

11:30~12:15、13:00~15:00

\* 各支部合同行事・・・毎月一回程度

サークル参加ご希望の方は下記へお問い合わせ下さい。

星 : 045-844-9647

野末 : 044-287-0270

(多喜乃 記)

## 放送大学同窓会

2月24日(日)の「映画鑑賞とお話」では西浦さんのお話に酔いしれ、『初恋のきた道』に昔日の淡い想いなどを懐しみ、素直な主人公にこちらも年がいきもなく感動したりで、楽しい一日でした。その後の懇親会では映画の話で盛り上がり、この企画のシリーズ化を望む声もありました。

3月17日(日)、同窓会主催の卒業祝賀会が舞浜の東京ベイヒルトンホテルで行われ、神奈川からは8名の役員がお手伝いに出席しました。

「第13回通常総会」

1.日時 平成14年5月12日(日)  
13:00~

2.場所 神奈川県学習センター講義室

「講演会」

1.日時 平成14年5月12日(日)  
14:30~ (総会終了後)

2.場所 神奈川県学習センター講義室

3.演題 『産業空洞化と闘う中小企業』

4.講師 神奈川県学習センター所長 神代和欣教授

講演会後、懇親会を予定しております。

「行事予定」

キリン横浜ピアビレッジで夏の一日を楽しく過ごしませんか。

1.日時 平成14年7月14日(日)

2.目的地 キリン横浜ピアビレッジ(京浜生麦駅から8分)

3.集合場所と時間 京急生麦駅

14:00

4.費用 3,500円程度

5.申込み (6月末)

佐々木順子(045-472-6482)

大花幸子(0468-66-2195)

詳しくは、『波濤』第23号(3/1発行)をご覧ください。多数の参加をお待ちしております。

(片野 記)

## 放送大学ダンスサークル

ブルース、ジルバ、ルンバ、ワルツ、タンゴ など気軽にダンスを楽しんで見ませんか！初めてのパートナーと、息もぴったり踊れたら、なんとすばらしいじゃありませんか！

放送大学ダンスサークルは放送大学の学生さんとOBの皆さんでやっているダンスサークルです。踊れる人も全く初めての人も歓迎です。資格ある指導者がレッスンしてくれます。単位登録しておけば放送大学の体育実技の単位が取れます。

練習は毎月 第2火曜日、第4火曜日の午後3時から午後5時まで、学習センターで行います。そして、時々は外のホールやダンスパーティへも出かけましょう。

連絡先：藤田重則 044-344-7171

平島 力 045-842-2119

## 放大かながわ レク・サークル

レク・サークル主要活動種目の一つであるターゲット・バードゴルフ(TBG)で、群馬県昭和村の皆さんを招いて交流競技会を行い、二日間楽しく過ごしました(TBG競技につきましては、前号の「ふゆだより」で紹介しております)。今回の交流は「かながわシーサイドTBG交流連絡会」が主催して、放送大

学は協力をしたものですが、昭和村の皆さんとは招待したり、されたりで、回数を重ねる毎に交流の度合いも深まっております。

「放大かながわレク・サークル」は楽しく運動をして体育実技の単位をとれますので、新入生には人気サークルの一つにもなっておりますが、今回の交流会にも、放送大学の学生ではありませんが、レク・インストラクターの資格取得を目指す方が7人もスタッフとして参加し、2日間楽しみながら一生懸命交流会の支援に取り組んでおりました。

レク・サークルの活動種目など詳細は末尾に記載しておりますが、普段の活動拠点は当「神奈川学習センター」ですので、計画的にセンターを訪れるなどして体育実技の単位取得を計られるとよいと思います。

話を戻して、今回の交流会について、もう少し詳しく触れてみたいと思いま

## U A 神奈川学習センター はるだより編集部

発行者：神代和俊

編集者：五十嵐、遠藤、星、加藤、松本、皆川、吉田、村山、浅野、坂井

・神奈川学習センターの人事異動で、山本(哲)さん、笹生さん、浅野さん、吉武さん、渡辺さんが退任になり、高杉さん、中野さん、石川さん、山田さん、山本(伊)さん、渋谷さんが新たに着任されました。退任された方々の貢献に感謝いたすとともに、新任の方々どうぞよろしくお願いいたします。

ホームページもご覧ください。  
<http://u-air.net/kanagawa/>

次回、神奈川学習センター「なつ」だよりの特集テーマは、「夏の思い出」「あなたの学習方法」「他の学習センターの集中面接を受けた体験記」です。学生の方々の原稿を募集いたします。1200字程度にまとめて6月上旬までに、E-Mailで、あるいはセンター窓口までお寄せください。また、新たに「書評」「読後感想文」も400字程度で受け付けることになりました。奮ってご応募ください。

す。TBG競技は超ショートホールでゴルフを行うような競技ですが、それなりの広場を必要とするところから、今回も三浦市の長浜海岸に面して建つ、県立三浦ふれあいの村の宿泊施設と広場を使用して行われました。2月16日・17日の二日間でしたが、天気も上々で積雪30センチもある群馬県昭和村の方々には汗ばむほどの気温ではなかったかと思います。初日の夜には放送大学学生と飛び入り参加の皆さんで、レクリエーションダンスを踊り、さらには、生演奏付のカラオケで交流ムードも最高潮に達し、余韻を残して終了しました。

TBG競技には100人近い方が参加しましたが、どちらか1日だけの参加など、かなり柔軟な参加方法もとれて、無理のない楽しみ方ができます。

今回は交流競技会でしたが、神奈川県だけの競技会なども行われますので、各自のご都合に合わせて選択できます。日ごろお忙しくて運動不足の皆さん！レク・サークルに加入してみたいかがでしょうか。

最後にサークルのご紹介をいたします。新入生大歓迎！（サークル活動をしながら体育実技の単位が取れます）。

### 1. 通常活動種目

レクダンス・フォークダンス：練習日毎月第二、第四火曜日PM1時～3時（センター内）

TBG：練習日毎月第二、第四火曜日AM10時～12時（大岡原っぱ）

### 2. 校外活動種目（随時）

TBG、オリエンテーリング、ウォークラリー他

### 3. 連絡先（入会等の）

代表者：中嶋 博子

Tel / Fax : 0467 83 8203

(文：佐々木恭夫記)